



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ハーバー研究所  
コード番号 4925 URL <https://www.haba.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 一成  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部担当 (氏名) 高崎 明彦  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-5296-6250

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,636	1.1	573		573		912	
2023年3月期第3四半期	8,735	8.6	767		742		810	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 910百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 807百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	241.17	
2023年3月期第3四半期	214.40	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,204	9,712	68.4
2023年3月期	14,655	10,773	73.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,712百万円 2023年3月期 10,773百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		40.00	40.00
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	10.4	450		470		2,340		618.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(2024年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正並びに固定資産の減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,935,000 株	2023年3月期	3,935,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	153,481 株	2023年3月期	153,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	3,781,519 株	2023年3月期3Q	3,781,519 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2024年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向が続く中、先行き不透明感が残るものの、新型コロナウイルス感染症の生活・経済への影響は大幅に軽減しております。また、訪日外国人数はコロナ禍の沈静化及び円安を背景に増加しており、インバウンド需要の回復も国内景気を押し上げています。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源、エネルギーの価格上昇や中国経済の先行き懸念、内外経済の下振れリスク、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響などもあり、先行き不透明な状況に伴う生活防衛意識の高まりなど、今後の個人消費は予断を許さない状況にあります。

当社グループにおきましては、通信販売（EC含む）で年間購入金額が下位ステージの顧客層では対前年同四半期比減少となったものの、上位ステージの顧客層では対前年同四半期比増加し、店舗販売（直営店・百貨店）ではインバウンドを中心に回復基調にあり、催事・イベント等も賑わいを取り戻しつつあります。海外市場においては、現地での販売活動の回復が期待されたものの、輸出の大半を占める中国の薬事関連規制の影響や個人消費の落ち込みなどにより、想定より販売活動の回復に遅れが生じており、その結果、その他卸売は前年同四半期比で減少となりました。

こうした中、当社グループでは、中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）に基づいた事業活動を推進しており、中長期的な視点から持続的成長と企業価値向上に向けた収益基盤の構築を目指し、ロイヤルティの向上・LTV（顧客生涯価値）の最大化、IT基幹システム、環境に配慮した研究開発について優先的に取り組み、ブランド価値の向上に努めております。

具体的には、ロイヤルティの向上・LTV（顧客生涯価値）の最大化に向け、通信販売と百貨店のポイントサービスの統一化（2022年11月）を実現させています。また、当社は2023年5月に創業40周年を迎え、40周年を記念して“ディズニー100”デザインの『スマイルフレンズ スクワランセット』、『スマイルフレンズ UVキッズジェルセット』を数量限定で発売（2023年7月20日より）、10月20日からは第2弾のディズニープリンセスデザインの『ディズニープリンセス スクワラン』、『ディズニープリンセス ハンドセラムセット』を通信販売（EC含む）及び全国のショップハーバーにて数量限定にて発売しております。さらには、HABA無添加スキンケアメイクアップシリーズの一斉リニューアルを実施し、新発売（2024年1月22日）いたしました。これらを通じて、顧客の利便性や満足度の向上並びに積極的な事業基盤の構築をはかっております。ブランド認知度の向上に向けては、TVCM、オンライン美容講座等の実施のほか、2023年8月22日よりタレント、メイクアップアーティスト、ユーチューバーを起用した輝く“美と健康”のトークライブ番組「キラキラシンデレラ」（ユーチューブ公開ライブ配信）、また、2023年11月20日より、ハーバー高品位「スクワラン」Web動画、櫻井海音、辻千恵出演、姉と弟の物語『#一編の詩のように、一滴でうるおう。』を展開し、新たなファンの獲得と育成に繋がり、今後の事業基盤の拡大に期待できると考えております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、8,636,506千円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

品目別売上の基礎化粧品は5,606,616千円（同4.7%減）、メイクアップ化粧品は710,773千円（同9.3%増）、トイレットリーは486,563千円（同4.6%増）、健康食品・雑貨等は1,821,042千円（同7.5%増）となりました。

販売ルート別売上では、通信販売（EC含む）が5,124,567千円（同0.3%増）、百貨店向卸売は930,136千円（同39.3%増）、その他卸売2,123,609千円（同17.0%減）、直営店458,180千円（同14.0%増）となりました。

売上原価は、2,688,115千円（同2.1%減）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が2,380,431千円（同5.1%減）、その他経費が4,141,281千円（同2.5%減）、合計で6,521,713千円（同3.5%減）となりました。

これらの結果、営業損失は573,321千円（前年同四半期は営業損失767,927千円）、経常損失は573,569千円（前年同四半期は経常損失742,740千円）、繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額189,343千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は912,006千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失810,744千円）となりました。

## 品目別売上

(単位：千円)

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	5,881,310	67.3	5,606,616	64.9	△274,694	△4.7
	メイクアップ化粧品	650,050	7.5	710,773	8.2	60,722	9.3
	トイレットリー	465,084	5.3	486,563	5.7	21,478	4.6
	その他(注)1	43,986	0.5	11,498	0.1	△32,488	△73.9
	小計	7,040,432	80.6	6,815,451	78.9	△224,981	△3.2
健康食品・雑貨等		1,694,700	19.4	1,821,042	21.1	126,342	7.5
化粧品・健康食品等 小計		8,735,133	100.0	8,636,494	100.0	△98,639	△1.1
その他(注)2		135	0.0	12	0.0	△122	△90.7
合計		8,735,268	100.0	8,636,506	100.0	△98,761	△1.1

(注) 1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

## 販売ルート別売上

(単位：千円)

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売(EC含む)	5,108,323	58.5	5,124,567	59.3	16,243	0.3
	百貨店向卸売	667,808	7.6	930,136	10.8	262,327	39.3
	その他卸売	2,557,014	29.3	2,123,609	24.6	△433,404	△17.0
	直営店	401,986	4.6	458,180	5.3	56,193	14.0
	合計	8,735,133	100.0	8,636,494	100.0	△98,639	△1.1

(注) 上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・健康食品等 小計」売上に対して記載しています。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して187,923千円減少し、9,155,800千円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して262,687千円減少し、5,048,805千円となりました。これは主に、ソフトウェアの改修等及びクラウド化により無形固定資産が増加したものの、機械装置売却による有形固定資産の減少、また繰延税金資産が減少したことによるものです。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して454,429千円増加し、3,252,838千円となりました。これは主に、買掛金が減少したものの、短期借入金、未払金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して156,512千円増加し、1,239,676千円となりました。これは主に、長期借入金、繰延税金負債が増加したことによるものです。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して1,061,553千円減少し、9,712,091千円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、2023年5月11日に公表しました2024年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正並びに固定資産の減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,817,842	3,771,268
売掛金	987,265	1,074,550
商品及び製品	1,408,642	2,124,142
仕掛品	69,062	49,058
原材料及び貯蔵品	1,890,533	1,900,968
その他	182,392	250,582
貸倒引当金	△12,014	△14,770
流動資産合計	9,343,724	9,155,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,034,728	5,044,371
減価償却累計額	△2,689,455	△2,798,557
建物及び構築物(純額)	2,345,272	2,245,814
機械装置及び運搬具	1,931,923	1,803,338
減価償却累計額	△1,653,864	△1,576,106
機械装置及び運搬具(純額)	278,058	227,232
工具、器具及び備品	1,251,732	1,261,378
減価償却累計額	△1,082,605	△1,081,642
工具、器具及び備品(純額)	169,126	179,735
土地	1,573,134	1,569,225
建設仮勘定	86,742	19,723
有形固定資産合計	4,452,335	4,241,731
無形固定資産		
ソフトウェア	301,388	394,628
その他	14,379	14,334
無形固定資産合計	315,768	408,962
投資その他の資産		
投資有価証券	7,047	9,516
繰延税金資産	235,244	91,547
差入保証金	270,437	271,583
その他	39,118	33,921
貸倒引当金	△8,457	△8,457
投資その他の資産合計	543,389	398,111
固定資産合計	5,311,493	5,048,805
資産合計	14,655,217	14,204,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	475,685	272,841
短期借入金	200,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	801,091	845,273
未払金	680,082	996,979
未払法人税等	162,671	21,200
未払消費税等	26,601	25,747
契約負債	347,844	350,633
その他	104,431	140,164
流動負債合計	2,798,408	3,252,838
固定負債		
長期借入金	1,031,752	1,141,815
繰延税金負債	—	46,402
その他	51,411	51,459
固定負債合計	1,083,163	1,239,676
負債合計	3,881,572	4,492,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	10,398,693	9,335,426
自己株式	△1,135,943	△1,135,943
株主資本合計	10,771,770	9,708,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,875	3,588
その他の包括利益累計額合計	1,875	3,588
純資産合計	10,773,645	9,712,091
負債純資産合計	14,655,217	14,204,606



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,735,268	8,636,506
売上原価	2,747,144	2,688,115
売上総利益	5,988,123	5,948,391
販売費及び一般管理費	6,756,051	6,521,713
営業損失(△)	△767,927	△573,321
営業外収益		
受取利息	39	22
受取配当金	207	247
受取賃貸料	621	621
助成金収入	※ 25,985	※ 2,293
還付加算金	128	296
受取保険金	—	1,172
その他	3,836	1,749
営業外収益合計	30,817	6,401
営業外費用		
支払利息	4,532	6,194
その他	1,098	456
営業外費用合計	5,630	6,650
経常損失(△)	△742,740	△573,569
特別利益		
固定資産売却益	9,458	5,106
助成金収入	※ 21,060	—
特別利益合計	30,519	5,106
特別損失		
固定資産売却損	—	8,200
固定資産除却損	1,455	63,531
特別損失合計	1,455	71,732
税金等調整前四半期純損失(△)	△713,676	△640,196
法人税、住民税及び事業税	113,691	82,466
法人税等調整額	△16,623	189,343
法人税等合計	97,067	271,810
四半期純損失(△)	△810,744	△912,006
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△810,744	△912,006

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△810,744	△912,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	606	1,713
為替換算調整勘定	2,606	—
その他の包括利益合計	3,213	1,713
四半期包括利益	△807,531	△910,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△807,531	△910,292
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症において、2023年5月には感染症法上の分類が5類に引下げられ、経済活動は回復に向かう事が予想されます。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響は減少していくとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は未だ不確実性もあり、今後の状況により、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える場合があります。

(繰延税金資産の取り崩し)

当第3四半期連結会計期間末において、将来の業績動向等を踏まえた最善の見積りを行い、当社の繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産189,343千円を取り崩し、同額を法人税等調整額に計上しました。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 助成金収入

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

営業外収益に計上されている助成金収入は小諸市工場等立地促進助成金等であり、特別利益に計上されている助成金収入は雇用調整助成金(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例)等であります。

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

営業外収益に計上されている助成金収入は障害者雇用調整金等であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。